



# アクアブリンセスの特徴



- ① 使用している成分の種類は、安全性を追求し最小限に抑えています。
- ② 毛髪内に残留するシリコン剤は使用していません。
- ③ ウェットヘアにもドライヘアにも、髪質やヘアスタイル、そして用途を問わず、全ての髪に多種、多用に使うことができます。
- ④ 洗い流さないで使用できます。(リンスしなくてよい)



## 使用方法

### ＝パーマ編＝

#### ■ 部分的な損傷毛を保護する方法

ダメージを受けている部分に、原液を塗布してワインディングします。

#### ■ 全体的に傷んでいる髪を保護する方法

パーマ液1液に、10%～20%混ぜて使用。

#### メリット

ダメージを受けた部分を修復しながら、傷みをおさえる。

さらにその部分にパーマ液を浸透しにくくし、仕上がりを均一化できます。



#### ■ パーマ時の熱からの保護をする方法（ストレート・デジタル・コテなど）

1液を流した後、濡れている髪全体に原液 5g（10円玉くらい）を塗布し、全体にいきわたるようにコーミングし、ブロー・アイロンに入ります。

（デジタルパーマの場合は、1液の時処理して下さい）

#### メリット

ヒアルロン酸の作用で髪の水分を逃がさず、キープすることで髪を熱から守ります。（温度 180度程度）

#### ■ パーマの仕上げをより良くさせる方法

髪全体に原液5g（10円玉くらい）塗布します。

#### メリット

パーマの仕上げ剤として使用することで、ウェーブを残しながら栄養補給し、髪質を変化させることができます。





## ＝カラー編＝



### ■ カラー剤での髪への痛みを中和させる方法

カラー剤に、10%～20%混ぜて使用します。

#### メリット

髪への痛みを促進させないで、定着させられる。退色を抑えられます。  
椿油の作用で仕上がりの手触りを良くさせます。



## ＝トリートメント編＝

### ■ トリートメントとして使用する方法

集中トリートメントとしてシャンプー後リンスしないで、アクアプリンス適量を髪全体に塗布し、スチームか遠赤外ライトで処理する。その後、洗い流してください。

#### メリット

髪の中の修復、油分の補給ができます。



## ＝ブローーションとして＝

### ■ ブローーションとして髪を守りながらブローする方法

水（できれば軟水）100ccに2g～3g（好みに応じて）溶かして使用します。

#### メリット

キューティクルを保護します。髪の立ち上がり、ボリュームが得られます。  
ハンドドライヤーからの熱の保護として使用できます。



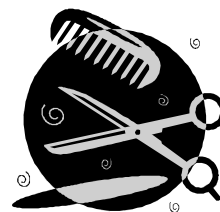
## ＝カットーションとして＝

### ■ カットーションとして使用する方法

水（できれば軟水）100ccに2g～3g（好みに応じて）溶かして使用します。

#### メリット

鋏の切れ味が良くなり、長持ちさせることができます。



### 注意事項

未開封で6ヶ月の保存期間になります。キャップを開けてから3ヶ月以内で使用下さい。

（保存状態が悪ければ、その限りではありません）